

**第 24-1 回 日本学術会議 心理学・教育学委員会
心の先端研究と心理学専門教育分科会 議事要旨**

日時： 平成 30 年 2 月 17 日（土） 14：00～16：30

場所： 東京大学本郷キャンパス法文 2 号館第 3 会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

出席者： 亀田達也、行場次朗、西田眞也、岡ノ谷一夫、蒲池みゆき、河邊隆寛、河原純一郎、楠見孝、坂上雅道、坂田省吾、實藤和佳子、積山薫、高瀬堅吉、友永雅己、原田悦子、村上郁也、四本裕子、渡辺茂（18 名）

<議事概要>

1. 役員の選出

亀田委員より、学術会議の概略および本分科会の役割と前期までの審議経過について説明があった。互選により委員長に西田眞也氏、副委員長に友永雅己氏、幹事に明和政子氏、蒲池みゆき氏の選出があり、承認された。

2. 第 24 期活動計画

期および分科会委員の交代に伴い、第 23 期（およびそれ以前）から継続した委員より下記のような分科会の掲げるミッションについての説明がなされた。また、今後の展望について出席者間での意見交換を行った。

本分科会のミッションは、日本のこころの先端的な研究をレベルアップするための方策を考えていくことである。その中には、大学院研究教育などを通し、将来を担う心理学研究者をどのように育成する仕組みをつくるかという議論も含まれる。このため、委員が互いに議論を重ねられる仕組みをつくり、情報交換を行い、コミュニティを形成するなど、まずはこころの研究を行う上で研究者間の議論の場を活性化させるための施策が重要である。これにより日本の心の研究を進めていくにあたってどう進めるのが良いかについて議論を進める。

心理学の先端研究を進めるにあたり、組織づくりや人的・環境インフラを整えるにあたっての問題点などをとりまとめ、期の終了までの学術会議としての意思の表出（提言・報告など）を視野に入れる。また、学术界・社会に向けた発信としてシンポジウム等を企画していく計画であることが幹事団より提案され、了承された。

今後の審議内容の具体的な希望について、委員からのアンケート調査を企画することとし、了承された。

以上